

アランセーターの伝統模様からの考察

— 女子大生の思考とサンプル製作まで —

大塚 有里*・幕内 敦子**

Study with Reference to the Traditional Patterns of Aran Sweaters:
Attitudes of Female University Students and Production of Samples

Yuri OTSUKA, Atsuko MAKUUCHI

はじめに

アラン模様が身頃や袖にほどこされたアランセーター（図1）は、アイルランドの西側に位置（図2）し、^{アラン諸島}ゴルウェイ湾に浮かぶアラン諸島（図3）を発祥の地とする。Oileain Arannは、西側から、^{イニシュモア}Inis Mor、^{イニシュマーン}Inis Meain、^{イニシイア}Inis Oirrと呼ばれる3つの島から構成されている。ちなみにアイルランド語で、Arannは長い山々、Inisは島、Morは大きな、Meainは真ん中、Oirrは東を意味する。この“編まれた彫刻”とも表現される乳白色の浮き彫り調の立体模様には、アラン諸島で暮らす人々の神への畏れや祈り、厳しい自然環境や日常生活に対する様々な願い、時には家族の安全を願う気持ちなどが込められているといえられており、この模様の中に編み手から着用者へのあふれる秘めた思いを読み解くことができよう。

本学服飾美術学科の学生を対象に、伝統的な模様のもつ意味を解説後、それらを理解した上でデ



図1 アランセーター



図2 アイルランド



図3 アラン諸島

（『アランニットの本』
日本ヴォーグ社 2016年）

*服飾美術学科 手芸研究室 **元服飾美術学科 手芸研究室

ザインされたアランセーターから、現代の女子大生の思いの一端を探ることが第一の目的である。さらに、その結果に基づいたサンプル品の製作を行い、今後の本学でのニット関連科目における作品製作時のコンセプト設定やデザイン展開、実物製作に応用し、失われつつある伝統模様やその意味、あるいはその技術を若い世代へと継承していくことを第二の目的とした。

方法

1. 既刊書籍によるアラン模様の伝統的な模様と意味合いを整理する。
2. 1で整理した代表的な16模様のスワッチを5枚に分けて製作する。
3. 2の模様について提示・解説した後、各自がコンセプトを設定したアランセーターを30分程度でデザインする。

実施日：第1回 平成27年1月、第2回 平成28年1月 計2回

人数：第1回 大学3・4年生63名、第2回 大学3・4年生71名 計134名

対象は、本学服飾美術学科の女子学生である。

4. 提出されたデザイン画の模様とキーワードを分類し傾向を探る。キーワードは、記入されたコンセプトから最大で3つまで取り出す。
5. 出現数が多い模様を使用してセーターとベストをデザインし、1/2サイズのサンプル品製作を行う。

材料：ウール100%（ハマナカ RICH MORE PERCENT Color No.1 40g/玉）

編み針：棒針3号、5号、6号

ゲージ：メリヤス編 10×10cm 25目31段（棒針5号）

製作期間：平成28年9月～10月

結果

1. 代表的な模様

16模様の名称、編地、意味を示す。（図4、表1） 図4と表1において○数字は対応している。

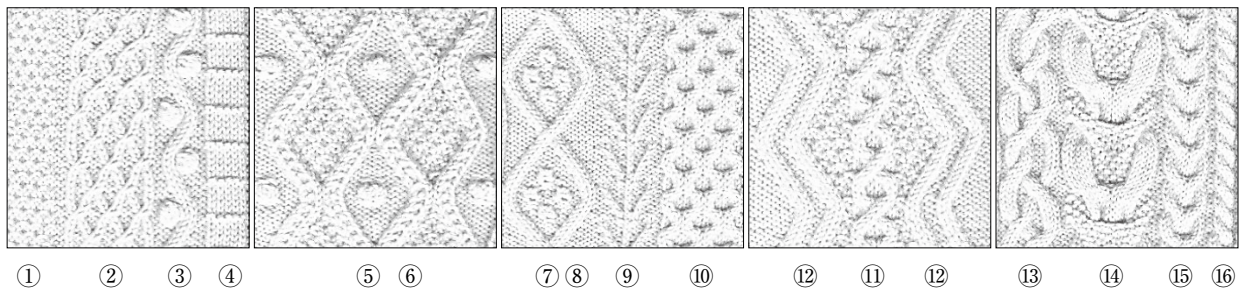


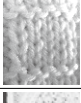
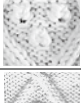
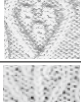
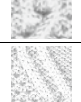

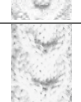
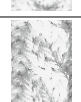


図4 代表的なアラン模様のスワッチ

アランセーターの伝統模様からの考察

表1 代表的なアラン模様の名称・編地・意味

	名 称	編 地	意 味
①	鹿の子編み Moss stitch		富と苔むした土の成長、漁師たちの繁栄を表す。
②	格子 Trellis		石の壁で囲われた狭い畑を表す。
③	ジグ・ザグ Zig Zag		1本は、連なる崖、崖の小道、稲妻、2本並べて、寄り添う結婚生活を表す。
④	人生のはしご Ladder of Life		永遠の幸福に向かって人々が登ると考えられているはしごを表す。
⑤	ボップル入りの畝格子 Ridge trellis with Bobble		ボップルは、代表的なものとしてアイルランドの木苺の実を表し子供を意味することもある。パプコーンは、とうもろこしの実、ボップルより小さい実を表す。
⑥	ボップル Bobble		
⑦	パプコーン Popcorn		
⑧	ダイヤモンド Diamond		結婚生活や成功、富、財宝、人生の浮き沈みを象徴する。
⑨	ツリーオブライフ Tree of Life		すくすく伸びる木を命に例え、身につけると長寿と漁の手助けとなる丈夫な息子達が生まれることを保証する。
⑩	アランハニカム Aran Honeycomb		漁の網を表す。蜂の巣状から骨の折れる仕事を象徴する。
⑪	スプーン Spoon		家族が十分な栄養を摂り、健康で日照りや飢餓で苦しむことなく大漁をもたらすであろう祈りが込められる。
⑫	アニーバンケーブル Uneven Cable		ケーブルは縄編みで、漁師の使用するロープ、命綱、または農夫が収穫物を束ねるという意味がある。安全と豊漁、豊作の願いが込められている。
⑬	プレートケーブル Plaited Cable		
⑭	バルキーダブルケーブル Bulky double Cable		
⑮	ダブルケーブル Double Cable		
⑯	シンプルケーブル Simple Cable		

2. デザイン画

134名中、模様が判別できたデザイン画は122枚であり、そこに付記された説明書きからキーワード（後述）を抽出する。使用する模様数は指定していない。例としてデザイン画4点を挙げる。（図5）

模様が判別できなかった12枚は、描かれてはいるが説明書きがない、独自に創作した模様である、模様が無いなどであるため除外した。

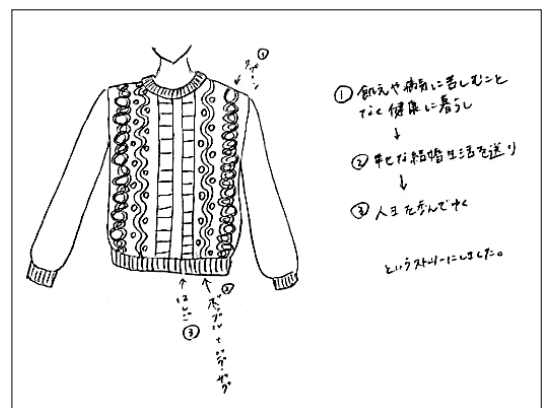
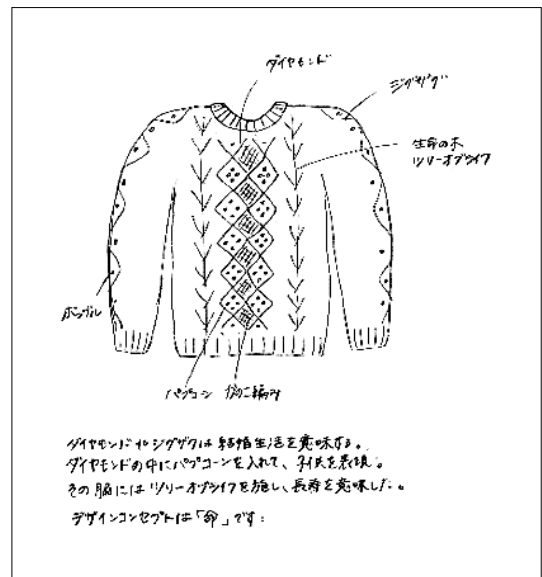
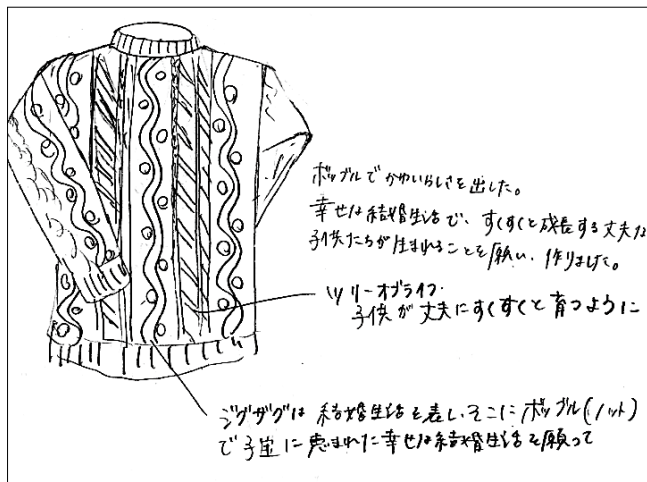
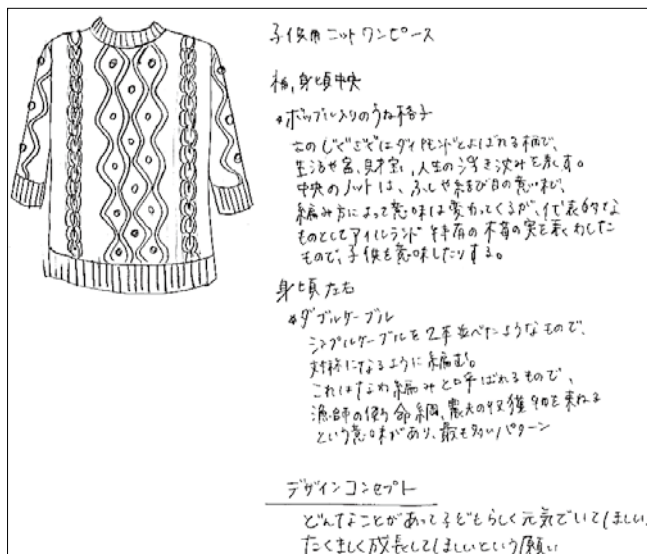
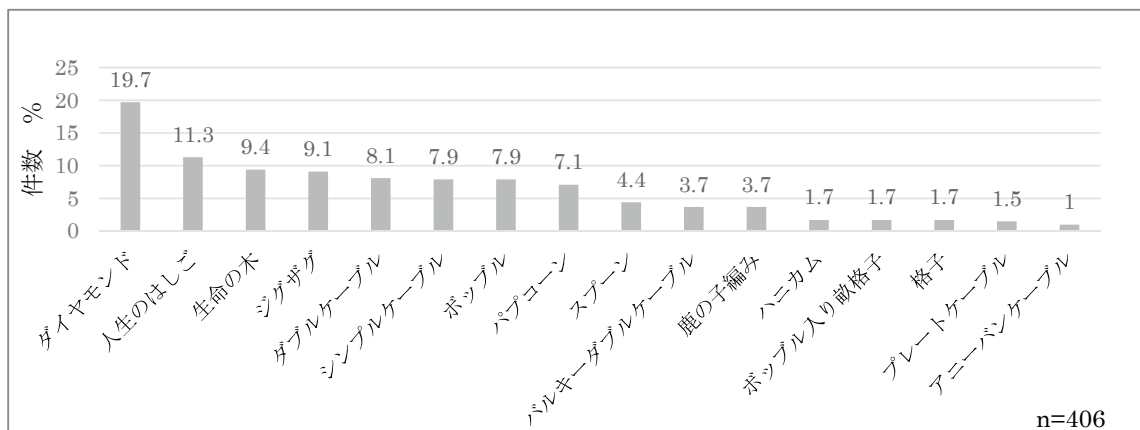


図5 学生が描いたセーター

3. 模様

122枚のデザイン画から、のべ406模様を抽出した。1枚のセーターに平均して3.3模様が使用されている。出現回数が多いのは、ダイヤモンド80回（19.7％）、人生のはしご46回（11.3％）、生命の木38回（9.4％）、ジグザグ37回（9.1％）、ダブルケーブル33回（8.1％）、シングルケーブル、ポップル各32回（各7.9％）、パプコーン29回（7.1％）、スプーン18回（4.4％）、バルキーダブルケーブル、鹿の子編み各15回（各3.7％）、その他であった。（表2）

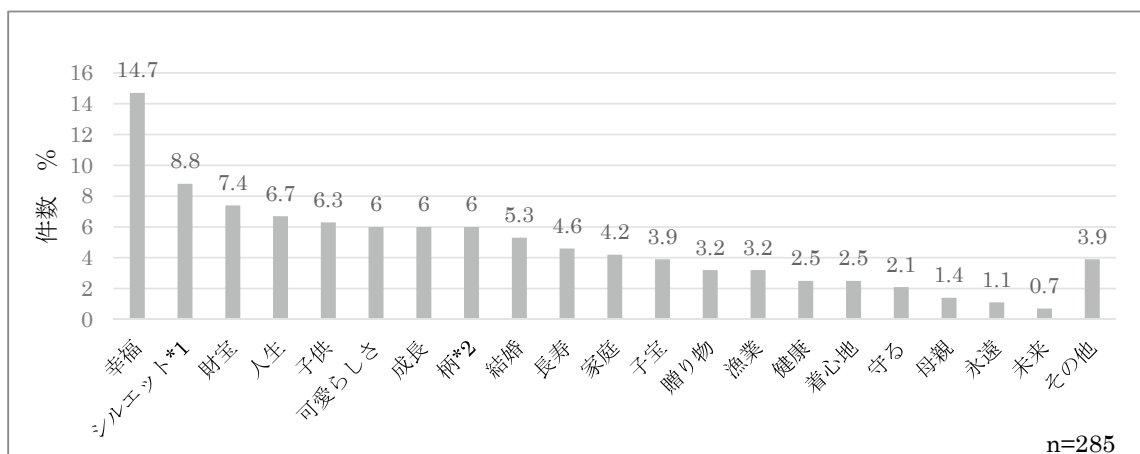
表2 模様



4. キーワード

122枚のセーターに対するキーワードをのべ285語抽出した。1枚に平均して2.3語となる。283語（99.3％）はポジティブなワードであり、ネガティブなものは、不平等、苦難の2語のみで1回ずつの出現であった。出現回数が多いのは、幸福42回（14.7％）、財宝・富21回（7.4％）、人生19回（6.7％）、子供18回（6.3％）、可愛らしさ、成長、各17回（各6％）、結婚15回（5.3％）、長寿13回（4.6％）、家庭12回（4.2％）、子宝11回（3.9％）、贈り物、漁業各9回（各3.2％）、健康7回（2.5％）、その他であった。なお、表中の*印をつけたシルエット*1 25回（8.8％）、柄*2 17回

表3 キーワード



(6%) に関しては、それぞれ関連したワードをまとめているため数が多くなっているのですが、今回は参考程度にみていただきたい。(表3)

5. サンプル品製作

製作過程

1) デザイン 2) ボディ原型から製図を作成する 3) 材料決定 4) 編地決定 5) ゲージを編む
6) 袖ぐり、衿ぐりの減目数、伏目数を編目グラフで計画する 7) 前後身頃を編む 8) 肩の引き返し編みを編む 9) 袖を編む 10) パーツに蒸気アイロンをかける 11) 身頃の肩を接ぐ、脇をとじる 12) 裾と衿ぐりのゴム編み 13) 袖下をとじる 14) 袖口のゴム編み 15) 袖付け
16) 仕上げ

出現回数の多い模様を用いて1/2サイズのセーターとベストの製作を行った。アランセーターは、元をたどれば男性が労働着として着用するものであったが、服飾品が多様化した現在では女性用にもよく見受けられる模様でもあり、また本学では女子学生を対象として手編みによるニットⅠ・Ⅱの授業を行い今後もサンプルとして使用するため、2点とも日本ヴォーグ社の手あみテキストによる婦人ボディ原型とプルオーバーの製図を参考にした。デザインは、一般的に編物の初学者が手がけるセットインスリーブとバストダーツ無しのシンプルなものとした。色は、元来、未脱脂の“bainin wool (ボーニンウール)” と呼ばれる乳白色の糸で編まれていたため、ハマナカ社製の RICH MORE PERCENT Color No.1 生成色(ウール100%、未脱脂ではない)を採用した。

セーターの身頃には、ダイヤモンド、鹿の子編み、シンプルケーブル、ツリーオブライフ、袖には、人生のはしご、ツリーオブライフをバランスよく配置した。ベストには、ダブルケーブル、ジグ・ザグ、ボップルを使用した。参考までに完成品の重量は、セーター100g(2.5玉)、ベスト65g(1.6玉)である。

1934年イギリスのドキュメンタリー作品 MAN OF ARAN (邦題：アラン) に見られるように、アラン諸島の荒涼たる大地と厳しい自然の中にも、そこに暮らす人々の不屈の精神や生命がある限り前を向いて歩いていこうとする真摯な姿が、この整然と並ぶ伝統模様の中に垣間見ることができる。模様が浮き上がって見えるのは、それぞれの模様の間を裏編目で編んでいるからであり、冒頭でも述べたがまさに“編まれた彫刻”となるのである。写真撮影では、キヤクチュール1/2縮寸ボディに着装した。(図6)

規則的に繰り返すアラン模様は、始めは複雑に感じられるが、慣れてしまえば編図がなくても編めるようになり、段数も模様の数で判別できる。長年編み続けてきたアラン諸島の女性たちにとっては目をつぶっていても、おしゃべりをしていても編めると言われるほど身についたものであったことが理解できた。



図6 製作した1/2サイズのサンプル品

考察

1. 1枚のセーターには平均3.3模様が使用され2.3語のキーワードが用いられたという結果に対してその模様のもつ意味合いを照らし合わせてみると、“1番目に、永遠の幸福を望みながら結婚生活を送りたい、2番目に、富や財宝を手にしたい、3番目に、長寿を願い子宝に恵まれたい”という本学服飾美術学科の2年間のみの3・4年生134名を対象にしたごく限られたものではあるが、女子学生らの将来を夢見る姿が浮かんでくる。これらは一般的に、今も昔もそう変わらない予想範囲内の願望だと思われるが、1番目と3番目に関しては、生涯未婚率が増加をたどる側面もある¹⁾ことから、年齢的にも社会的にも一体いつまで続くものなのだろうかと思わざるをえない。
2. 服飾を学ぶ学生であるにも関わらず、模様に意味があることを知らなかったという声も少なからずあったため、模様の意味を理解した上でデザインをすることは、明確なコンセプトのもとで作品を創作することにもつながり、折に触れて紹介し説明することの重要性を再認識した。
3. サンプル製作では、身頃や袖の丈や幅に、模様が途切れないように配置することによって“ニットは模様（編地）優先”と言われる所以であることをあらためて実感しながらの製作となった。様々な模様を組み合わせることにより、限られた目数と段数の中にも無限のデザインが可能となり、創意工夫をする楽しさが十分に堪能できる。今回は、1/2サイズでのサンプル製作が目的でもあり、限られたスペースに模様を入れるため、通常、手編みで多く用いられる並太毛糸よりも細めの糸を使用した。実物大での製作においては、糸の太さによる模様のバランスも考慮したい。
4. 元は労働着として伝わるアランセーターであるが、女性たちが手間や時間をかけて、危険な漁に出る夫や息子のために安全を祈りながら一針一針編まれた産物であることを思うと、労働着としてはもったいないほどの非常に贅沢な一品であることに気づくことができた。

まとめ

手編みによる編物は、たった二つの基本的な編み方、表編目と裏編目の正確な技術の習得が出来さえすれば、わずかな忍耐力とともにどのようなものでも製作は可能である。少し時間がかかるローテクではあるが、自らの目で確かめながら理解を進め、自らの手で製作を行うことは、将来的にハイテクな編機などの機械操作を行う以前に、最低限必要なことであろうと確信している。

また、2011年3月の東日本大震災においてあらゆるインフラが途絶えた地域では、編物や手芸を手段として、人々は自らの手を動かし収入を得る道を考え、周囲を勇気づけ、新しいコミュニティで人の輪を広げたりと、ハイテクには敵わないものを生みだしていたことは私たちの記憶に留められ、新聞等の誌面からも十二分に思い出すことができよう。例えば、「気仙沼ニッティング」、「メッセージ入り応援キルト」、「就労目指し編物講座」、「漁網をミサंगाに」…などである。あの出来事は、いろいろな意味でハイテクとローテクの在り方を突き付けられ、人の手の技術の素晴らしさと大切さ、可能性をあらためて実感することにもなり、過去から先人たちが一針一針、手を動かし続けてきたことに重く深く篤い意味を痛感するのである。

今回は、伝統模様としてアラン模様を取りあげたが、手仕事の一つとして同じように伝わってきたことの意義を感じ、若い世代の学生達に、世界の服飾文化として発祥の地を伝え、模様の意味や技術をつなぐことの大切さを再考することにもなった。他方では「その土地が生み出し、育み、その場所でしか作ることができないものがあります。(中略) 今日、工賃が一番安い場所でしかものづくりは行われません。アジア地域で編まれたアラン風セーター。そんな『似て非なるもの』で満足している精神の貧しさというものこそ、危惧すべきではないでしょうか。」²⁾ という意見もあるが、量産する場と教育の場とでは立場が違っても踏まえながら、日本に限らず伝統をつなぐ人材が危ぶまれている現在では、本物の希少さと正確な発祥の地や情報を伝えると同時に別の場所で育んでいくことも、ひとつの伝統を守ることにもなり新たな展開を生むことにつながると考えてはどうだろうか。

伝統模様の解説から始まり、提出された個性豊かなデザイン画の分析による女子学生の思考の一端をあらためて認識した上でのサンプル品の製作において、様々な示唆や知見を得ることができた。今後の授業展開、教育活動、製作活動に応用していきたい。

注

1) 読売新聞 平成10月18日(火) 暮らし面 生活調べ隊の記事より

“2016年度厚生労働省によると生涯未婚率は10年で男性20.1%、女性10.6%。20年には男性は25%を超え女性は20%近くまで上昇、その後は高止まりすると推測される。”

2) 長谷川喜美 ハリスツイードとアランセーター 有限会社万来舎 p.154.

参考文献

- 1) 編物の歴史. 日本ヴォーグ社, 1979, pp.10-57.
- 2) 伊藤ユキ子. 紀行アラン島のセーター. 晶文社, 1993, p.182.
- 3) 野沢弥市朗. アイルランド/アランセーターの伝説. 織研新聞社, 2002, p.236.
- 4) 長谷川喜美. ハリスツイードとアランセーター. 有限会社万来舎, 2013, pp.79-157.
- 5) エリック・ホブズボウム、テレス・レンジャー編. 創られた伝統. 紀伊國屋書店, 1992, pp.9-72.
- 6) 福のり子. 海の男たちのセーター. 日本ヴォーグ社, 1989, pp.102-120.
- 7) 世界の編物 アラン模様のすべて. 日本ヴォーグ社, 1976, p.166.
- 8) アランニットの本. 日本ヴォーグ社, 2016, p.112.
- 9) 世界の編物 2014-2015 秋冬号. 日本ヴォーグ社, 2014, pp.5-35.
- 10) 編日記号 JISL0201. 日本工業規格, 1995, p.15.
- 11) アラン模様 100. 日本ヴォーグ社, 1992, p.81.
- 12) 手あみテキスト スタンダードコース. 日本ヴォーグ社, 1989, pp.22-37.
- 13) 手あみのテクニックブック. 日本ヴォーグ社, 1989, pp.2-32.
- 14) 多田洋子. アランセーター要論ーケルト美術との関連における一考察ー. 日本服飾学会誌第 16 号, 1997.
- 15) 多田洋子. アイルランド手芸に見るケルト精神. 服飾文化学会誌, Vol.11 2010.

参考資料

- 1) MAN OF ARAN アラン (DVD). 株式会社アイ・ヴィー・シー, 2009.

付記

本報は、2016年6月、本学にて開催された日本繊維製品消費科学年次大会において発表したポスターセッションの内容に加筆し、サンプル品製作を加えたものである。